

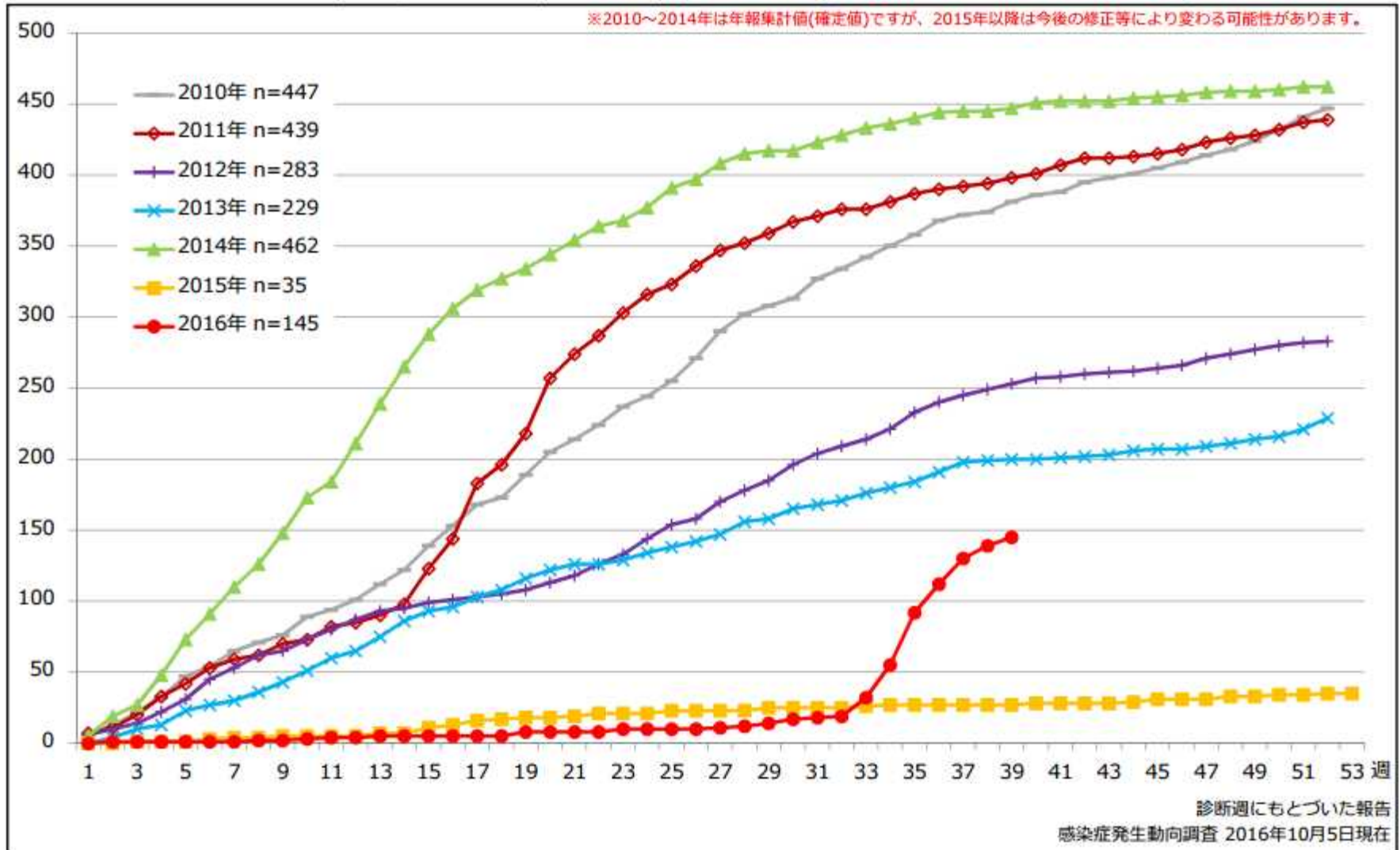
# 麻疹発生状況(2016年)

国立感染症研究所

# 麻疹累積報告数の推移 2010-2016年（第1-39週）

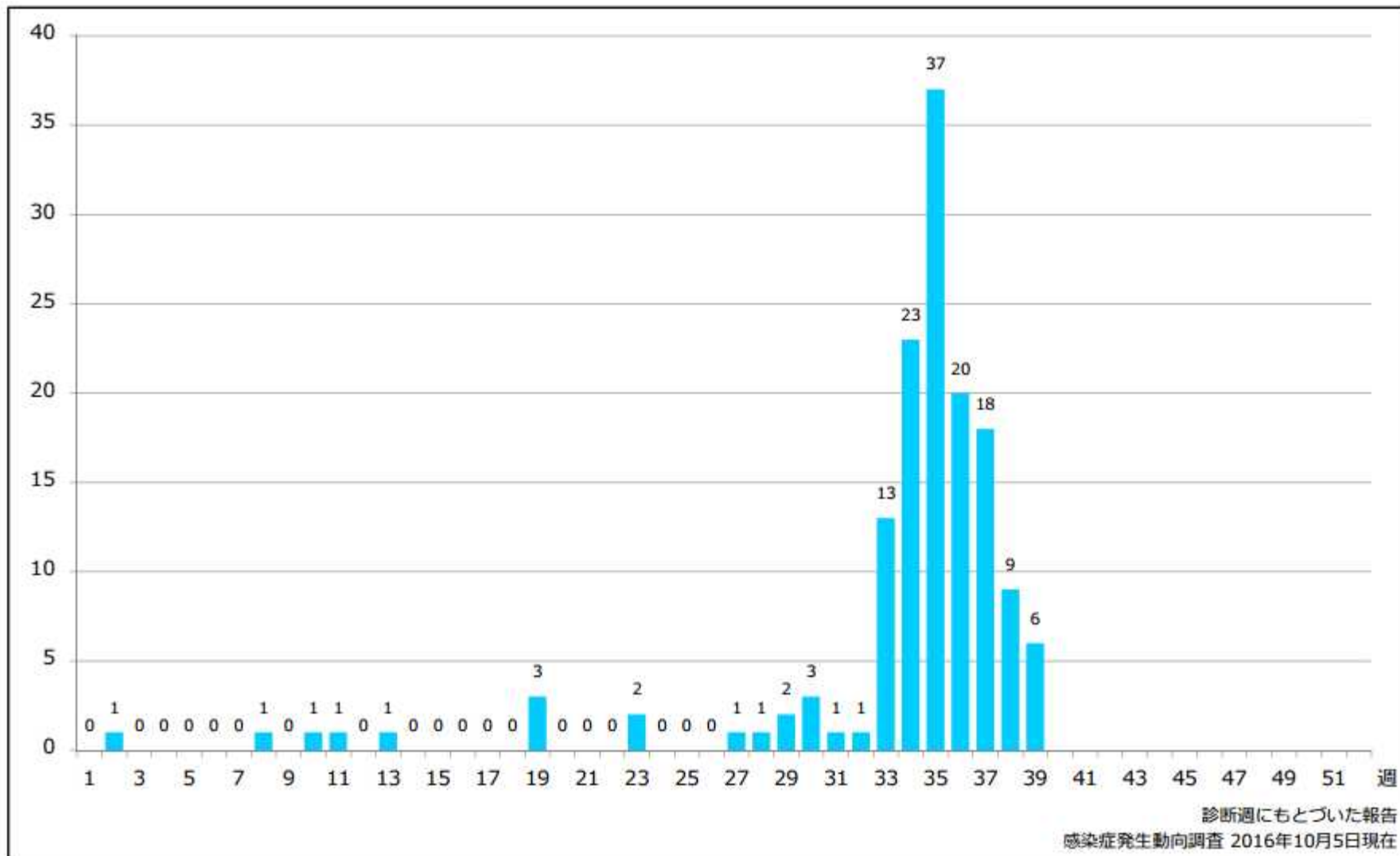
Cumulative measles cases by week, 2010-2016 (week 1-39) (based on diagnosed week as of October 5, 2016)

※2010～2014年は年報集計値(確定値)ですが、2015年以降は今後の修正等により変わる可能性があります。



# 週別麻しん報告数

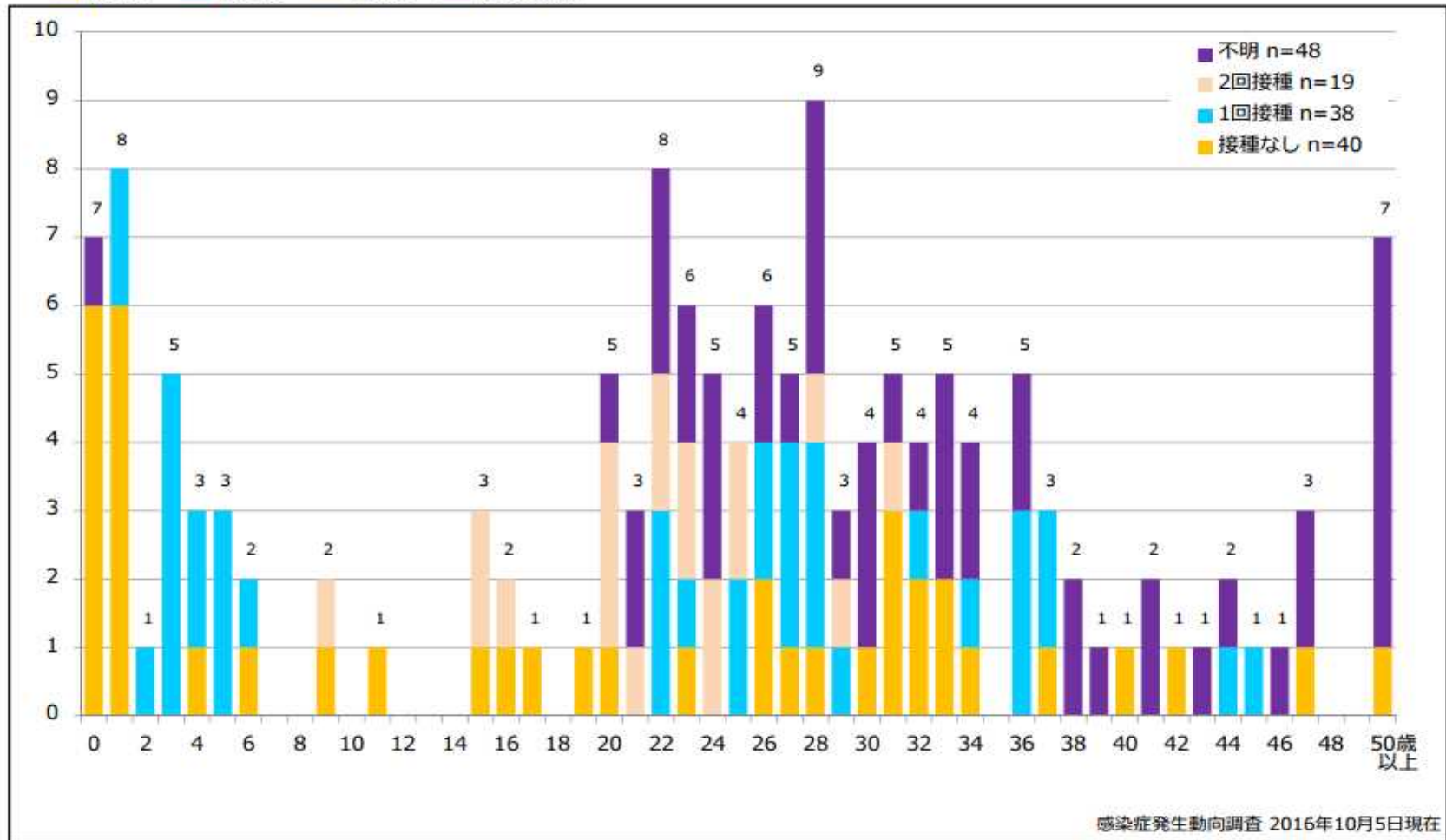
(n=145, 2016年10月5日現在)



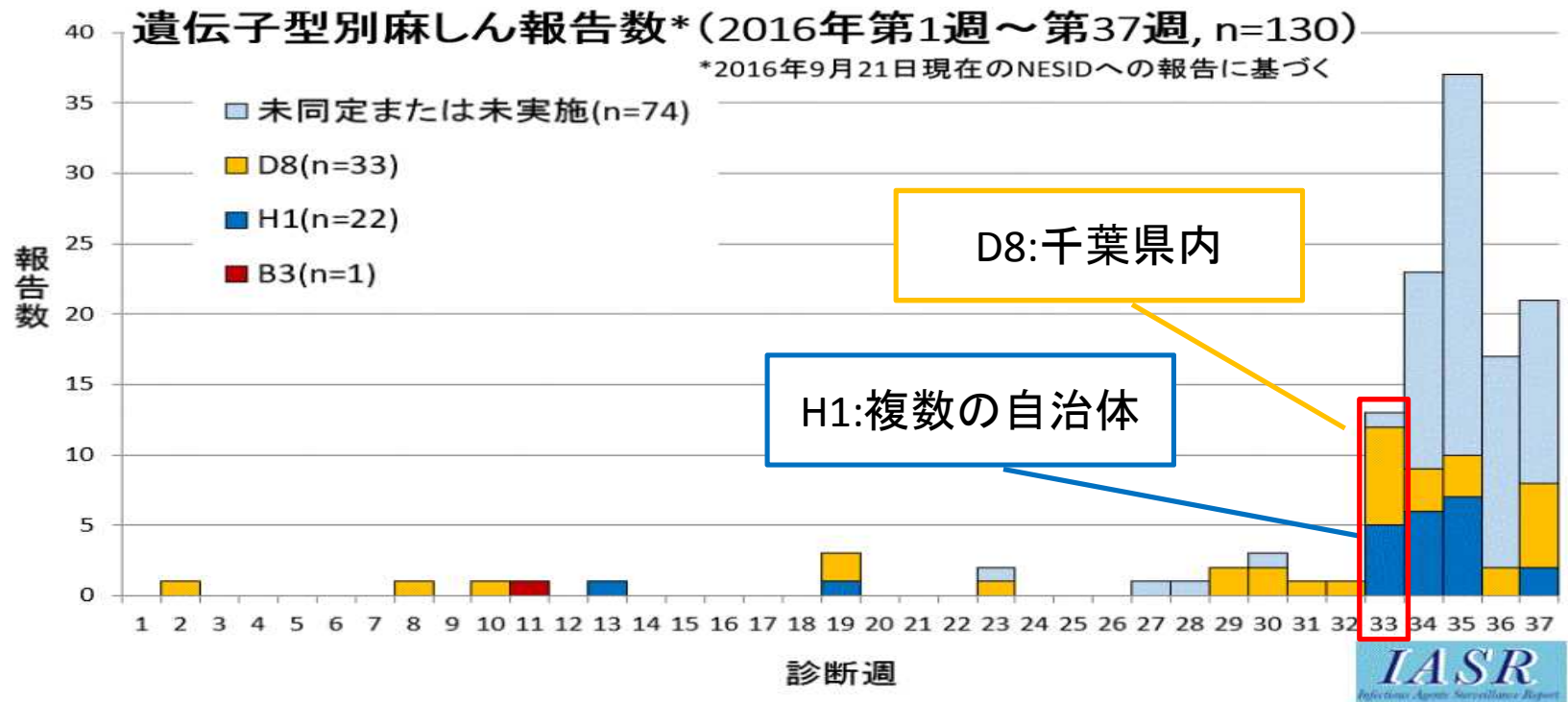
# 年齢群別接種歴別麻疹報告数 (n=145, 2016年10月5日現在)

Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-39, 2016 (as of October 5, 2016)

None MCV1 MCV2 Unknown



# 麻疹症例の集積の探知



- 第33週の報告例13例: 千葉県6例→麻疹ウイルス遺伝子D8型であり、管轄保健所による疫学調査により、それら6例は疫学的関連を持つことが推定された。
- 千葉県以外から報告された7例: 異なる自治体から1例ずつの報告であり、推定感染地域は国外4例(それぞれ異なる国)、国内2例、国内または国外1例であった。
  - 各自治体による積極的疫学調査の情報提供により、7例中5例では、遺伝子型(H1)が共通することがわかり、さらに詳細な行動調査を依頼したところ、うち4例で同じ国際空港の利用が明らかとなった。また、5例のH1型では、ウイルス遺伝子配列が一致することがわかった。

# 松戸保健所管内における麻疹の 集団発生

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/658-disease-based/ma/measles/idsc/iasr-news/6797-441p01.html>

# 端緒

- 2016年7月26日、松戸保健所管内で2例（症例1, 2）が同時に遺伝子検査で麻しんと確定された。症例1は、発症から診断までに時間がかかり、診断時には既に症例2が家族内感染で発症していた。なお、症例1には渡航歴は無く、感染経路は不明である。



**表. 症例リスト (n=13)**

| 症例 | 年齢・年齢群 | 性別 | 発症日*<br>(発熱or発疹) | 遺伝子型 | ワクチン<br>接種歴 |
|----|--------|----|------------------|------|-------------|
| 1  | 30代    | 女  | 7月12日            | D8   | 無           |
| 2  | 0歳     | 男  | 7月20日            | D8   | 無           |
| 3  | 4歳     | 男  | 7月29日            | D8   | 無           |
| 4  | 1歳     | 男  | 8月8日             | D8   | 無           |
| 5  | 20代    | 女  | 8月10日            | D8   | 不明          |
| 6  | 0歳     | 男  | 8月11日            | D8   | 無           |
| 7  | 0歳     | 男  | 8月11日            | D8   | 無           |
| 8  | 1歳     | 男  | 8月12日            | D8   | 無           |
| 9  | 15~19歳 | 男  | 8月13日            | -    | 2回          |
| 10 | 5~9歳   | 男  | 8月14日            | D8   | 無           |
| 11 | 1歳     | 男  | 8月21日            | D8   | 無           |
| 12 | 5~9歳   | 女  | 8月23日            | D8   | 無           |
| 13 | 5~9歳   | 女  | 8月24日            | D8   | 1回          |

\*発症日は患者行動調査によって更新されたものを含む



# 松戸保健所管内における麻しんの 集団発生について

- 患者行動調査および接触者調査を実施した。
- 医療機関や一般向けに管内での麻しん発生の情報提供を行った。
- 医師会、医療機関、松戸市等の関係機関と協力し、ワクチン接種勧奨や接触者の健康観察を実施した。
- 8月17日に管内医療機関関係者、教育関係者、周辺自治体の公衆衛生部局の担当者等を招き、麻しん対策会議を開催した。
- 同日に国立感染症研究所の実地疫学専門家の派遣を要請し、感染拡大防止の協力を得た。
- 積極的疫学調査の結果、接点が不明な症例は認めておらず、最終の接触者が発生した8月27日以降みられていない。

# 関西国際空港内事業所における 麻しんの集団発生

大阪府公表資料「関西空港内での麻しん(はしか)の集団感染事例について」より

<http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/osakakansensho/mashinsyudan.html>

# 端緒

- 8月17日：関西国際空港（以下、空港）内の事業所（以下、事業所）に勤務する20歳代女性が麻しんで入院中（A県B市）と、大阪府へ報告
- 8月18日：事業所では、保健所からの助言のもと、従業員へ、麻しん発生と健康観察・発熱時の対応について周知
- 8月31日：管轄保健所が当該患者の調査を行ったところ、接触者のうちの有症状者について、麻しんウイルス陽性患者が16名と判明

# 国際空港の利用日および/または ウイルス遺伝子型が共通する麻しん報告例

(発生動向調査より。2016年9月1日現在)

| 症例 | 年齢・年齢群 | 性別 | 接種歴 | 発症日<br>(発熱または発疹) | 報告<br>都道府県 <sup>注2</sup> | 遺伝子型 <sup>注3</sup> | 推定<br>感染地域      | 共通する<br>関西国際空港利用日 |
|----|--------|----|-----|------------------|--------------------------|--------------------|-----------------|-------------------|
| 1  | 20～24歳 | 女  | 1回  | 8月8日             | 愛知県                      | H1                 | 中国              | - <sup>注4</sup>   |
| 2  | 20～24歳 | 女  | 不明  | 8月9日             | 和歌山県                     | H1                 | 国内              | 7月31日             |
| 3  | 15～19歳 | 男  | 無   | 8月9日             | 兵庫県                      | H1                 | インドネシア<br>または国内 | 7月31日             |
| 4  | 25～29歳 | 男  | 不明  | 8月10日            | 福岡県                      | H1                 | 国内              | 7月31日             |
| 5  | 30～34歳 | 男  | 無   | 8月11日            | 大阪府                      | H1                 | 韓国または国内         | 7月31日             |

注1 掲載内容は届出時点のものであり、疫学調査などの結果で今後、更新される場合がある。

注2 報告都道府県は政令市、中核市等の保健所を設置している自治体を含む。

注3 遺伝子配列は1～5で一致していた。

注4 関西国際空港を利用していたとの情報はない。

✓ 8月25日の「麻しんに関する緊急情報」公表に引き続き、9月2日に情報提供

# 関西国際空港内事業所における 麻しんの集団発生について

- 大阪府の発表によると、9月29日現在、同空港事業所内における麻しん患者は計33例であり、麻疹ウイルスの遺伝子型が判明している29例はすべてH1型であった。
- 空港内の事業所で発生した集団感染は、2015年に麻しん排除が認定された後では最大の規模であった。
- 事業所内での症例発生は9月2日以降みられていない。
- 病型\*
  - 麻しん10名：  
接種歴なし3(30%)、1回以上の接種歴3(30%)、不明4(40%)
  - 修飾麻しん\*\*23名：  
接種歴なし2(9%)、1回以上の接種歴11(49%)、不明10名(43%)

\*感染症発生動向調査より

\*\*典型的な麻しんの3主徴(発熱・発疹・カタル症状)はそろわない

# 謝辞

感染症発生動向調査、積極的疫学調査に  
御尽力、御協力頂きました皆様に深謝申し上げます。

大阪府

千葉県

松戸保健所

全国の医療機関、地方自治体、地方衛生研究所

国立感染症研究所ウイルス第3部、

感染症疫学センター、FETP